

## 仕様書

- 1 本委託業務の名称  
「令和 8 年度県立高校 Fukuoka Ignite Can-Pass 構築事業」とする。
- 2 契約期間  
契約締結の日から令和 9 年 3 月 31 日まで
- 3 予算額（上限）  
9, 675 千円（消費税及び地方消費税含む）
- 4 目的  
本業務は、次の二つを目的とする。
  - (1) 県立高校等の生徒が、1 人 1 台端末等を活用し、在籍校を問わず、学びたいときに学びたい場所で、学校の枠を越えて、自身の進路や興味・関心に応じた学習をすることができる機会を創出することで、「学びの場」を充実させ、県立高校等の魅力を向上させる。
  - (2) 教員が自身の業務等と並行し、自由な時間に目的に応じた指導法を学ぶとともに、経験豊富な教員の指導技術や生徒対応のノウハウ等を、学校間を越えて県立高校等全体で継承し、県立高校等の教育力の維持及び向上につなげる。
- 5 令和 8 年度県立高校 Fukuoka Ignite Can-Pass 構築事業の実施内容
  - (1) オンライン講座ライブ配信
    - ア 内容
      - ・ 東京大学、京都大学を想定した入試問題演習のオンライン講座を開催する。
      - ・ 講師は、県立高等学校等の教員が担当する。
      - ・ 実施する講座は、下記のとおりとする（予定）。

東京大学	京都大学
国語（現代文／古典）	国語（現代文／古典）
英語（長文読解／自由英作文）	英語（長文読解／自由英作文）
数学（理系／文系）	数学（理系／文系）
理科（物理）	理科（物理）
理科（化学）	理科（化学）
理科（生物）	理科（生物）

      - ・ 教材の作成、分野の選定等は講師が行う。
    - イ 対象者
      - ・ 福岡県立高等学校及び福岡県立中等教育学校後期課程の生徒（希望者）
      - ・ 福岡県立学校の教員（希望者）
    - ウ 実施日
      - ・ 令和 8 年 8 月 3 日（月）～ 6 日（木）の 4 日間
      - ・ 講座は 1 日あたり、午前 150 分、午後 150 分の 2 講座を基本とする。ただし、講座を担当する講師や学校の都合等により、150 分未満となったり、1 日に 90 分 3 講座を実施したりするなど、時間や本数に変更となる場合もある  
また、同時帯に複数の講座を配信し、受講者がいずれかを選択して視聴する場合もある。

(2) アーカイブ動画サイトの構築

ア 内容

- ・ 5 (1) アの講座を撮影、分割、編集して、35本(予定)の講義動画を掲載した県立高等学校等専用アーカイブ動画サイト「Fukuoka Ignite Can-Pass～学びの心に火をつける～」(仮称)を構築する。

※Ignite・・・自己の進路実現に向け、「やる気に火をつける」・「感情をかき立てる」という意味を込めている。

東京大学		京都大学	
国語(現代文/古典)	2～3本	国語(現代文/古典)	2～3本
英語(長文読解/自由英作文)	2～3本	英語(長文読解/自由英作文)	2～3本
数学(理系/文系)	3～4本	数学(理系/文系)	3～4本
理科(物理)	2～3本	理科(物理)	2～3本
理科(化学)	2～3本	理科(化学)	2～3本
理科(生物)	2～3本	理科(生物)	2～3本
計 13～19本		計 13～19本	
合計 35本			

イ 対象者

- ・ 福岡県立高等学校及び福岡県立中等教育学校後期課程の生徒(希望者)
- ・ 福岡県立学校の教員(希望者)

ウ 視聴可能期間

- ・ 生徒: 動画サイト開設日以降の県立高等学校等在籍期間中
- ・ 教員: 動画サイト開設日以降の在職期間中
- ・ 令和8年9月中に動画サイトを開設する

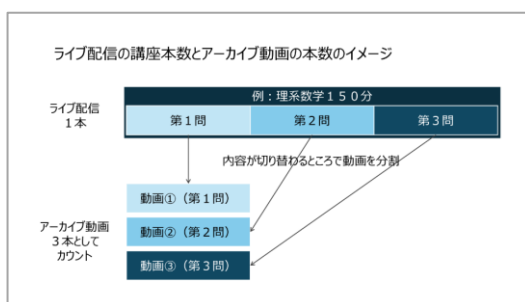
※ 上記視聴可能期間のうち、本契約における委託範囲は令和9年3月31日までとする。令和9年4月1日以降の配信維持および保守については、6(3)に示す次年度の予算執行において別途契約を締結し、調整を図るものとする。

エ 撮影

- ・ (1)の講座でアーカイブ動画が35本に満たない場合は、12月下旬に残りの講座の撮影を行い、2月に動画サイトへ追加掲載するが、学校側(講師)の負担を増やさないために、できる限り8月だけでアーカイブ動画35本分に相当する内容の撮影を完了できるようにする。
- ・ 当日までに事前打合せや現地調査などのロケーションハンティング(ロケハン)を実施すること。

オ 動画掲載期間

- ・ 今年度、動画サイトに掲載した動画は、次年度以降も継続して掲載する。(1本の動画につき、継続掲載の期間は3年を目安とする。)
- ・ 令和9年度、令和10年度もそれぞれ35本程度の動画を新たに追加し、3年間で合計100本程度の動画を掲載したアーカイブ動画サイトへと拡充していく。ただし、途中、教育課程(学習指導要領等)の改訂や大学入試形態の変更などが行われた場合は、動画の更新については随時行っていく。



## 6 委託内容及び仕様要件

本事業の趣旨・目的を踏まえ、5に定める事業実施に係る講座動画撮影のスケジュール調整、撮影機材の手配、撮影会場の設営、講座動画の撮影・ライブ配信、動画の編集（字幕、音声加工、画像処理等）、アーカイブ動画サイトの構築や運営・管理等の業務全般を行う。

### (1) 講座動画のライブ配信、アーカイブ動画の撮影・編集

#### ア ライブ配信、アーカイブ動画の撮影

- ・ ライブ配信、アーカイブ動画の撮影は、5(1)ウに示す日程を基本とすること。
- ・ 講座の担当教員や所属校と、撮影会場やスケジュールの調整を行うこと。
- ・ ライブ配信では、200名程度が同時接続可能とすること。
- ・ ライブ配信中に講師と受講者が双方向のコミュニケーションをとることができるようにすること（チャット、音声会話等）。
- ・ 撮影においては、高画質（Full HD 以上）の広角カメラ又は複数のカメラを使用し、教員の姿の追尾、板書・スライド等の視覚資料のアップや全体像などを明瞭に収録すること。
- ・ ワイヤレスマイク等を使用し、教員の発話、および生徒の質疑応答（許可を得たもの）を明瞭に集音すること。
- ・ 撮影機材の手配、撮影会場（指定の県立高校等）への機材搬入・設営、撤収等をすべて受託者が行うこと。また、ライブ配信において、数学（理系、文系）、理科（物理、生物）などいずれか一方を選択受講する講座は、複数の教室又は複数の学校に分かれて同時時間帯に開講するため、各会場での撮影に対応可能な人員、機材等を手配すること。
- ・ 撮影・配信を行うスタッフの交通費や宿泊費、機材の手配・運搬・設置に係る費用等は受託者の負担とすること。
- ・ ライブ配信時は運営サポーターを付け、ログインや音声トラブル等、生徒からの配信中の問い合わせに対応できる体制を整えること。
- ・ 5(1)ウに示す日程に加え、撮影予備日として、講座実施校が指定する日程での講座動画撮影に対応可能とすること（12月下旬、最大2日間）。
- ・ 講座実施に際し、講師が希望する必要な教材等を生徒がダウンロードしたり、紙ベースで出力したりできるようにすること。（6(2)も同様）

#### イ 編集

- ・ 5(1)アで撮影した動画、12月に追加撮影した動画を分割・編集し、年間35本程度の動画を作成すること。
- ・ 動画1本の長さは平均35分程度、最長60分とすること。
- ・ 動画の形式は、配信に最適化されたMP4形式とすること（H.264/AVC または H.265/HEVC コーデック）。
- ・ 編集には、映像の接合、テロップ挿入、スライド画像（パワーポイント等）の合成を違和感なく行うことができるプロ仕様の非線形編集ソフト（Adobe Premiere Pro、Final Cut Pro 等と同等以上のもの）を使用すること。
- ・ スライドや提示プリントなどの視覚資料が、カメラでの直撮りでは読み取りづらい場合、デジタルデータを直接動画内に合成し、高い視認性を確保すること。その際、講師の顔を画面端に小さくワイプで表示したり、注目すべき部分にポインター等を表示して目立つようにしたりすること。
- ・ 講師の発言および生徒の質疑応答をすべて文字起こしし、テロップを挿入すること。
- ・ 編集した動画は、アップロードする前に高校教育課の確認を受け、必要な場合は修正等の対応を行う。

## (2) アーカイブ動画サイトの構築及び運営・管理等

- ・ 200名程度の同時接続を可能とし、高負荷時においても遅延のない安定した配信が可能なクラウド型サーバー構成とすること。
- ・ 令和9年度以降も継続運用できるよう、6(3)に示す最大同時接続人数を想定したうえで、サーバー構成をすること。
- ・ 高度なセキュリティ対策が講じられたプラットフォームを採用すること。
- ・ データセンターは、物理的な侵入防止対策及び災害対策が講じられ、かつ日本国内に所在すること。
- ・ 通信はすべて暗号化を行い、保存データについても適切な暗号化措置を講じること。
- ・ 動画サイトの利用を希望する県立高等学校等の生徒・教員に、ID及びパスワードを発行し、不特定多数の閲覧を防ぐ措置を講じること。また、県がすでに付与しているGoogleアカウントによるシングルサインオン(SSO)への対応ができること。
- ・ 画面のスクリーンショットや動画の不正ダウンロードを防止する仕組みを可能な限り構築すること。
- ・ 大学ごとの分類や教科ごとの分類など、階層を設けて動画を掲載し、キーワードやタグ検索機能を利用できるようにしてサムネイルも用意する等、利用者が視聴したい動画を見つけやすくするための工夫をしてサイト画面を構築すること。
- ・ お気に入り動画のブックマーク登録機能を設定できること。
- ・ 動画視聴前に、講座の教材や資料をダウンロードできるようにすること。
- ・ 動画の再生速度の調整、レジューム再生(続きから再生)、シークバーによる位置指定が可能な設定とすること。
- ・ 動画視聴後に、自動ポップアップ又は画面推移により、動画の理解度について4段階評価のアンケート回答を促すための仕組みを構築すること。
- ・ 担当課が、動画ごとの視聴記録やアンケート回答結果を確認・分析できるようにすること。分析データはダウンロードできるようにすること。
- ・ PC、スマートフォン、タブレット端末に対応し、デバイスごとの画面サイズに最適化されたインターフェース(マルチデバイス対応)を構築すること。
- ・ ログイン画面に本事業独自のロゴ掲載ができること。
- ・ 県任意の利用規約やプライバシーポリシーをサイト画面上に掲載できること。
- ・ 本サイトの公開にあたっては独自ドメインを設定すること。また、当該ドメインに対して常時SSL化(HTTPS通信)を行い、安全な通信環境を確保すること。なお、ドメインおよびSSL証明書の取得・更新に係る費用は本業務に含めるものとする。

## (3) R9以降の契約について

- ・ 長期契約を前提とした単年度の契約であるため、以下も参考とすること。

年度	R8	R9	R10	R11～
開設コース	超難関コース	難関コース	一般教養コース(仮称)	なし
掲載動画数	35	35	35	0(撮影なし)
備考	東京大、京都大	九州大	小論文、情報等	保守運営のみ
同時視聴者数(想定)	200	1300	3000	3000
予算上限額	9,675千円	19,265千円※	35,777千円※	未定

※は今後の協議で変動する可能性があるため目安とする。

## 7 委託業者の要件

委託業者は、実施要項「5 参加資格」に示すほか、以下の要件を満たすこと：

- ・ 講義動画の撮影・編集やアーカイブ動画サイトの作成・運営・管理に関する専門的な技術を有する法人又は団体であり、この分野での事業実施に関する実績があること。
- ・ 事業の実施に必要なリソース（機材、人材、環境等）を十分に有している又は確保できること。
- ・ 高等学校以上の教育機関における授業撮影の実績を有し、学習効果を高めるための編集技術（板書や資料の合成、適切な字幕挿入等）および、授業進行を妨げない円滑な運営体制を有すること。
- ・ 情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の国際規格である「ISO/IEC27001」、またはそれに準ずる「プライバシーマーク（Pマーク）」の認証を取得し、有効な期間内であること。また、クラウドサービスを提供・管理するにあたり、「ISO/IEC27017」等のクラウドセキュリティに関する認証を保持していることが望ましい。

## 8 その他

- ・ 本業務の実施に当たり、個人情報保護法をはじめ、関連法令を遵守すること。
- ・ 講師の肖像権、および教材の利用に関する著作権等の許諾手続きは、県が行うものとする。受託者は、県から提供された教材や撮影した映像を、本事業の目的（動画サイトへの掲載・運営等）の範囲においてのみ使用し、適切に取り扱うこと。万が一、第三者の著作物（市販の参考書や図版等）が教材に含まれる場合、その利用許諾に関する確認や必要な権利処理については、県と受託者が協議の上で適切に対応するものとする。
- ・ 本業務中に知り得た情報は、第三者に漏洩しないこと。また、契約終了後も同様とする。
- ・ 本業務で作成された資料や動画等の著作権は全て福岡県に帰属するものとする。
- ・ 業務終了後は、本事業で作成したアーカイブ動画及び教材のデータを担当課へ提供するとともに、受託者が保有するデータは消去すること。
- ・ 担当課へ報告すべき事案や緊急を要する事案が発生した場合は、随時報告すること。
- ・ この仕様書に定めるもののほか、本業務の実施に当たり必要な事項については、担当課と十分に協議しながら円滑に処理すること。
- ・ 月ごとに、動画のタイトルごとの視聴回数、視聴時間、視聴完了率、途中離脱率、アンケート回答、資料ダウンロード、所属校、視聴者の属性等の分析をまとめた報告書を提出すること。また、年度末に、動画タイトルごとの年間の視聴回数、視聴時間、視聴完了率、途中離脱率、アンケート回答、資料ダウンロード、所属校、視聴者の属性等の分析をまとめた報告書を提出すること。
- ・ 同時接続可能人数は、R8年度200人、R9年度1300人、R10年度以降は3000人を想定すること。